

平成19年度 第5回 人材開発委員会議事録

開催日時	平成19年9月18日(火) 14時05分～15時20分
場 所	滋賀県トラック総合会館「研修室1」
議 長	入江副委員長
出席者	6名
議 案	(1) 所管業務の検討について (2) その他

定刻より5分遅れて開会。梶村担当参与及び卯田委員長が所用により欠席のため入江副委員長から開会にあたり挨拶があった後、続いて、入江副委員長議事進行により協議に入った。

(1) 所管業務の検討について

事務局より以前から委員会で話をしているとおり、交付金での福利厚生事業については近畿運輸局より数年前から交付金の大幅減額や予算化の廃止を指導されてきたが、今後の対応について検討していく必要があることから、今年度の事業計画、特に対象となる「健康管理の促進」及び「保養施設利用助成」について参考資料に基づき説明した。

- ・ 健康診断受診助成は当県では睡眠時無呼吸症候群受診助成と同じ予算で行っているが、睡眠時無呼吸症候群受診助成は交通安全対策の予算から支出するように今年6月、近畿運輸局から指導があり、健康診断受診助成について単独では次年度は大幅減の予算しか組めなくなるか、交付金での予算化が出来なくなる可能性がある。
- ・ 健康教室・研修会の開催については、各支部とも現在スポーツ研修を行っているが、スポーツ研修についても見直す必要がある。
- ・ 保養施設利用助成についても大幅減の予算しか組めなくなるか、交付金での予算化が出来なくなる可能性がある。当県ではこの夏から行っているダイヤモンドソサエティグループの利用、又ダイワロイヤルホテルズグループとの利用契約の話も行っており対応は出来つつある。その他、現在利用頻度が高い施設については出来るだけ安く利用出来るよう個別に契約するなどの対応が考えられる。

続いて、入江副委員長より次年度以降、福利厚生部分についての交付金予算がなくなる可能性があることから、今後の対応、又それに変わる事業について委員に意見を求めたところ次の発言があった。

- ・ 健康診断受診助成については理事会でも話が出ているようであるが次年度以降は一般会計で行ってはどうか。
- ・ 福利厚生関係に対し助成事業が出来ないのであれば、その代わりに今後の少子化対策等も考え人材確保について検討していく必要がある。
- ・ 健康教室・研修会はスポーツ研修ではなく健康に関する研修を行ってはどうか。

続いて、事務局より前回委員会で梶村参与から提案されたように、福利厚生関係事業についてもし一般会計で予算化するにも現在の一般会計予算からどこかを削る必要があることから、どの事業を一般会計にしてでも残していくのか、どれが最重要事業か、又順番を付けるとしたらどうなるのか、考えていけばどうか、と述べた。

入江副委員長より予算がなくなることを前提に各支部でも意見を出し検討して欲しいと述べられ、次回委員会で報告することとなった。

事務局より貨物自動車事業安全性評価事業（Gマーク）の関係か、今年度に入ってからドライバー研修会の受講申込みが非常に多く断るのに苦労している。以前は年間15回行ってきたが現在、環境対策委員会がエコドライブ研修会を行っており、当委員会の担当としては12回になっている。回数を増やし15回に戻して欲しいと提案し、増やす方向で今後検討していくこととなった。

その他、委員よりドライバー研修会やパソコン研修会の当日欠席についてであるが、参加費を貰って出席されたら返金するシステムにしてはどうか、もしくは参加費をいくらかでも貰ってはどうか、参加費を支払ったら欠席しにくいのではないかと、等の意見が出、今後継続して検討していくこととなった。

（２）その他

事務局より委員に対し前回の管理者研修会は好評であり次回研修会もPRをお願いしたいと要請した。

